

わかたけ

春日部市立武里小学校
児童数 418名 (9/1)
平成29年9月1日発行

～ 夏休み 都内や観光地の外国人観光客の姿をみて感じました ～

校長 高橋 信行

夏休み中に、体いっぱいエネルギーをため込んだ元気な子どもたちが、武里小学校に戻ってきました。雨が多かった今年の夏も、全国各地で様々な事件・事故、そして災害等が数多く発生しましたが、本校の子どもたちが巻き込まれることもなく、こうしてまた全校児童がそろって2学期の始業式を迎えられたことを、本当にうれしく思います。今日から始まる2学期は、気候的にはじっくりと勉強や運動に取り組むことができる毎日であり、また、子どもたちが主役となる様々な行事やイベントも盛りだくさんに行われていきます。子どもたちが一日一日を大切にしながら、短いスパンでの目標達成をたくさん積み重ね、豊かで充実した日々を送ることができるよう、教職員一同しっかりと指導してまいります。

さて、この夏休み中も何度か都内や観光地に出かけましたが、今年ほど、外国人観光客の多さを実感した年はありませんでした。これまでも特に都内では、繁華街を歩いている時や地下鉄に乗った時、エレベーターに乗った時など、ふと気づくと自分の周りがすべて外国人だったということも何度かあり、「外国人が多くなったな。」という感覚は肌で感じていました。しかし今回は、自分の中では、「えっ？こんなところにも？」と思う意外な場所に、外国人が溢れている状況を目の当たりにしたのです。その1つ。都内で行われたある会議の合間に、知人と築地場外市場に昼食に行った時のこと。そこには、お寿司屋さんなど定員20名ほどの小さな飲食店が数十軒、軒を連ねているのですが、どのお店も入口付近に並んでいるのは外国人ばかり。店のメニューの看板はどれも英語や中国語、ハングル表記が目立ち、また他の場所では中国系の方が目立つのに対し、そこは西洋系の方の比率がとても高く、とても日本国内にいるような雰囲気ではありませんでした。もう1つは地方の観光地でのこと。親戚がお店を開いていることもあり、毎年必ず訪れている「旧軽井沢」に今年も行ったのですが、とにかく例年以上の外国人の多さに驚きました。これまでは、二人乗りの自転車などで別荘地の中を走ったり、定番の観光スポットを散策したりしている人の多くは、日本人の家族連れなどだった印象が強いのですが、今年はなぜか中国系の方がとても多く訪れていて、別荘地の中でも、銀座通りでも、雲場池でも、聞こえてくるのは中国語(?)ばかりでした。おそらく日本国内のあちらこちらで、同じような状況が見られるようになっていくのだと思います。

なぜこれほど急激に、日本を訪れる外国人観光客が増えたのでしょうか。性能が高い日本製の電化製品を爆買するため、東京五輪に向けた観光誘致が盛んになったためなどの理由もあるでしょう。しかし、外国人旅行者に日本での旅行を楽しめる最も大きな要因を問うたある調査によると、「日本の街の清潔さ」「日本人の礼儀正しさ・優しさ」「日本の治安の良さ」が、ベスト3の答えなのだそうです。

急速にグローバル化が進むこれからの時代、英語をはじめとした様々な外国語でのコミュニケーション力が、いろんな場面で必要不可欠となることは間違いありません。そのため小・中学校の義務教育でも「英会話」授業の一層の充実が急速に図られています。しかし一方で、様々な文化の流入や発達により、日本人が伝統的に守り続けてきた礼節や誇りなど、「日本文化の美」が失われつつあり、様々な凶悪犯罪や低年齢化の傾向がある信じがたい犯罪等が増加し、人としてのモラルに欠けた事件・事故も連日発生・報道されています。そんな状況下であるからこそ、海外からの旅行者が揃って評価してくれている『日本人の礼節の素晴らしさ』、世界に誇れる『治安のよさ』を維持・発展し続けていくことが大切であることを、国をあげて再認識する必要があると思います。そして、学校・家庭・地域社会が一体となり、子どものうちから、こうした『日本文化の美』を繰り返し徹底指導していくことこそが、今、最も重要なことなのではないかと、都内や観光地を安心して観光している外国人の姿を見て、この夏、強く感じました。

林間学校 5年生



7月27日(木)～29(土)、5年生が、長野県志賀高原に林間学校に行きました。生憎の空模様でしたが、ハイキング・キャンプファイヤー・ホテル見学など、予定していたすべての体験活動を行うことができました。朝から晩まで様々な活動を共に過ごし、友だちの新たな一面を発見したり、クラスの絆を深めたりすることができました。しおりをもとに自分たちで考え、予定を頭に入れた上で余裕を持って行動できていた5年生。大変立派でした。

林間学校に向けての様々な準備や健康管理など、保護者の皆様の御協力に感謝いたします。

夏休み 新図書室の整備



夏休み中に、図書室を移転・整備しました。中・高学年の教室から最も遠く、位置条件の悪かった場所から、子どもたちが利用しやすい場所への大移転となりました。教室から近くなったことで、利用のしやすさは大きく改善されました。積極的な利用を期待しています。

よりよい学習環境のために



2年生の廊下の補修

算数科の教材室

学校には、児童への学習効果を上げるために数多くの教材や備品があります。児童の夏休み期間を利用して、職員が手分けをして毎年校内の全ての備品を点検しています。また、廊下の塗装等、職員自ら校舎の修繕も夏休み期間を利用して行っています。

金管・バトンクラブ



運動会や中央大会に向けて、連日暑い中でしたが、熱心に練習に取り組みました。練習の初めの頃は、新しい曲・新しい振り付けに戸惑う場面も見られましたが、後半には自信をもって演奏・演技をする児童が増えました。

まずは、9月30日の運動会で演奏・演技を披露します。楽しみにお待ちください。

算数サマースクール



8月23日(水)～25日(金)に算数サマースクールを実施しました。子どもたちにとっては久しぶりの学校でしたが、意欲を持って進んで学習に取り組むことができていました。どの教科においても、基礎基本の定着はとても重要です。御家庭での学習についても、引き続きよろしくお祈りいたします。